

有機フッ素化合物 (PFAS) について

衛生環境課
環境対策担当

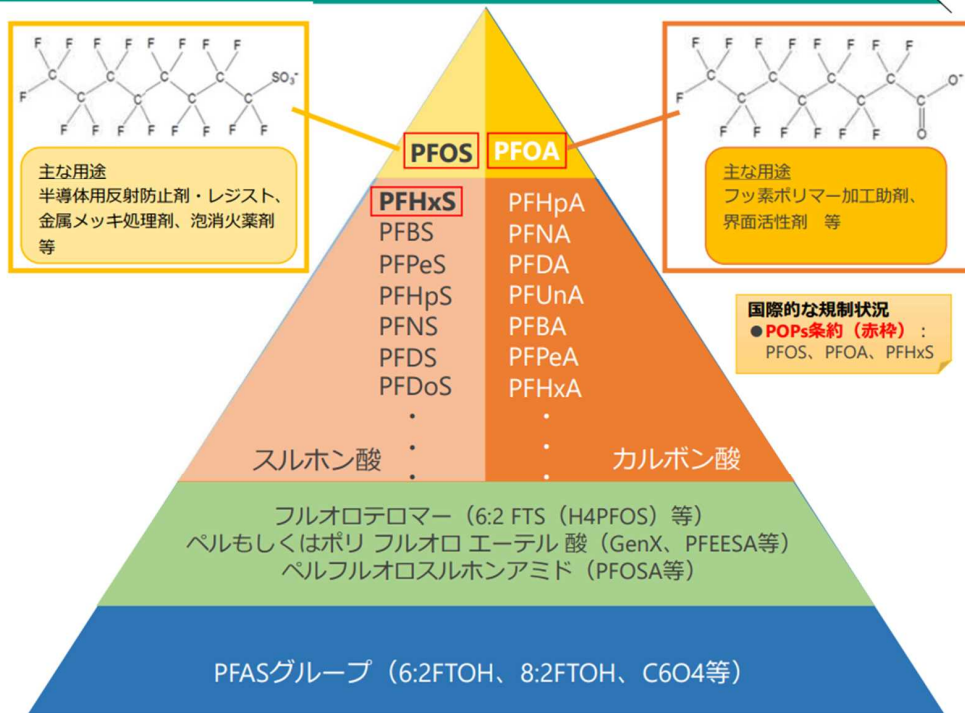


- PFASの概要
- 国内の取組
- 国内の検出状況
- 宮崎県及び日南保健所管内の検出状況
- まとめ



PFAS（ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物の総称）

全PFAS 10,000物質以上



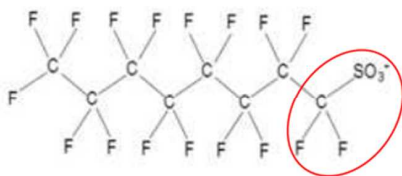
出典：ITRCのPFASホームページ図2-18（<https://pfas-1.itrcweb.org/2-3-emerging-health-and-environmental-concerns/>，2023年11月15日時点）を改変

環境省資料「PFOS,PFASに関する最近の動向について」より」抜粋

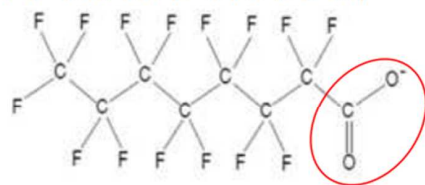


PFOS、PFOAの概要

PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）



PFOA（ペルフルオロオクタン酸）



用途 泡消火薬剤、金属メッキ処理剤、半導体用反射防止剤など

性質 難分解性、生物蓄積性、人及び動植物に対する慢性毒性

規制等の状況

- POPs条約の対象物質に追加
- 化審法に基づき**製造・輸入等を原則禁止**（PFOS 2010年、PFOA 2021年）
- 水質の暫定目標値（PFOSとPFOA合わせて50 ng/L（ナノグラム・パー・リットル）を設定（2020年）
→ 専門家会議において、厚生労働省と連携し、最新の科学的知見に基づき、暫定目標値の取扱いについて検討中。

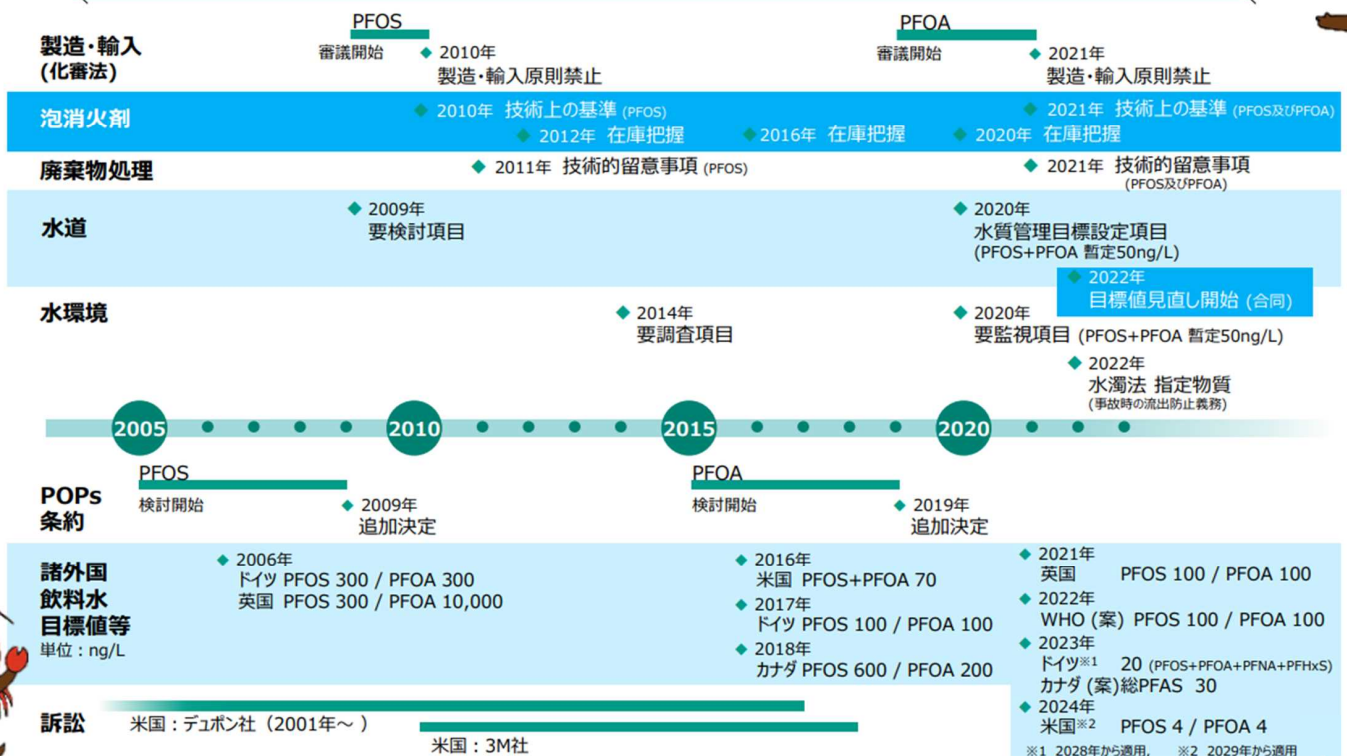
※2024年4月から水道行政のうち、水道・衛生に関する業務が環境省へ移管



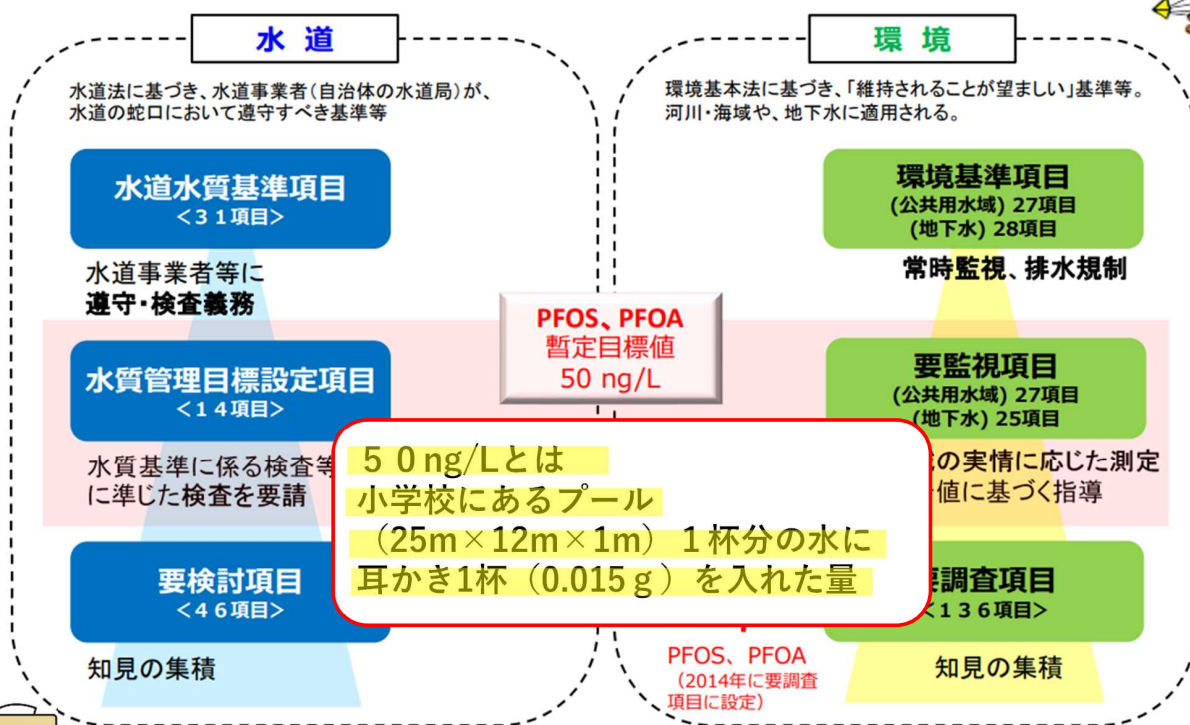
- PFASの概要
- 国内の取組
- 国内の検出状況
- 宮崎県及び日南保健所管内の検出状況
- まとめ



PFOS及びPFOAに関する国内外の検討状況



水質に関する水道と環境の体系



環境省資料「PFOS,PFASに関する最近の動向について」より」抜粋

“フッ素コーティング製品”に
使われている？

使われていません

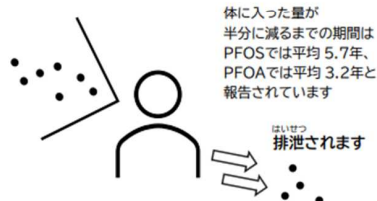
PFOS・PFOA以外の
フッ素化合物が
使われています



昔は、フライパン等の撥水・撥油加工に用いられるフッ素樹脂の
製造の際にPFOAが使われていましたが、今は使われていません
(法規制だけでなく、企業の自主的な取組により、使用廃止されました)

体に入ったらどうなる？

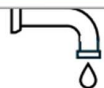
自然に排泄されて徐々に減ります



水だけじゃなくて、食べ物？ 普通に生活していて大丈夫？

食品の安全性を科学的に評価する国の機関である食品安全委員会は、
「通常の一般的な食生活では、著しい健康影響が生じる状況にはない」と評価しています

「現時点の情報は不足しているものの、通常の一般的な国民の食生活(飲水を含む)から食品を通じて摂取される
程度のPFOS及びPFOAによっては、著しい健康影響が生じる状況にはないものとする」(2024年6月)



毎日2リットル、一生飲み続けても
健康への悪影響が生じないと思え
られるレベル

おいて、他の地域との明らかな傾向の違い
は出ていません
また、飲料水による個人の健康被害は
国内で確認されていません



- PFASの概要
- 国内の取組
- 国内の検出状況
- 宮崎県及び日南保健所管内の検出状況
- まとめ



国内の検出状況



- 令和元年度から令和4年度までの水質測定地点は延べ2,735地点
(令和元年度：171地点、令和2年度：173地点、令和3年度：1,133地点、令和4年度：1,258地点)
- そのうち、暫定目標値を超過した地点数は、延べ250地点であり、主に都市部及びその近郊で超過が確認される傾向が見られる。

R3、4年度の水質測定地点の概況

	地点数 (都道府県数)	R4年度暫定目標値 超過地点数 (都道府県数)
R3、R4年度に継続して測定した地点	609 (28)	39 (10)
R3年度に暫定目標値を下回り、R4年度には測定し なかった地点	503 (23)	-
R4年度に新規で測定した地点	649 (32)	72 (12)

令和3年度及び令和4年度の公共用水域及び地下水水質測定結果より

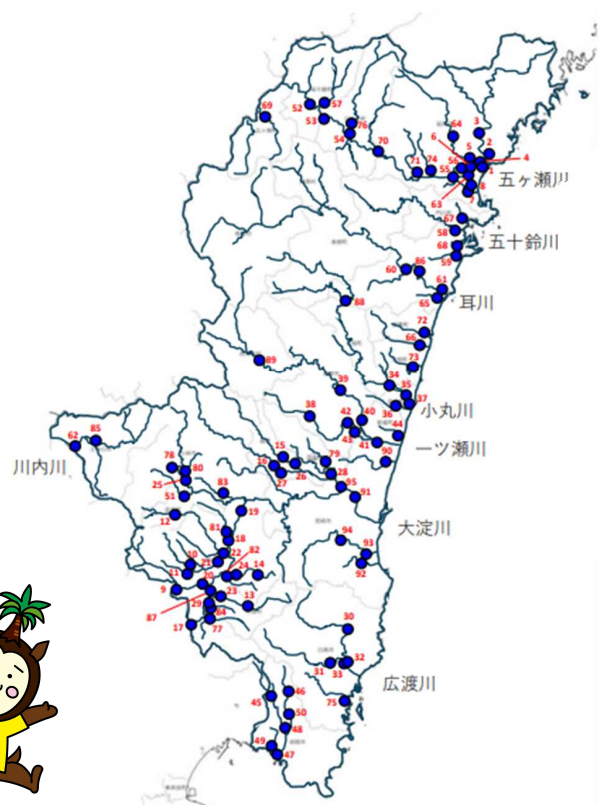
R3年度とR4年度を比較すると、地域の実情に応じて測定に取り組む自治体が増え、水環境中の存在状況に関する情報が充実したと考えている。



- ・ PFASの概要
- ・ 国内の取組
- ・ 国内の検出状況
- ・ 宮崎県及び日南保健所管内
（日南市、串間市）の検出
状況
- ・ まとめ



宮崎県内河川調査地点



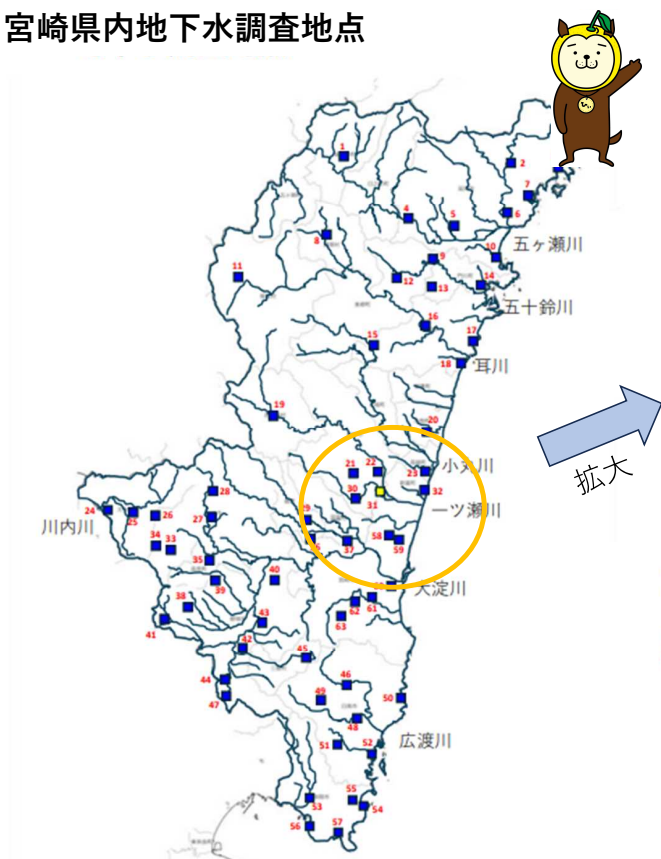
PFOS及びPFOAの暫定指針値の超過は
ありませんでした。

- PFOS及びPFOAが暫定指針値以下の地点
- PFOS及びPFOAが暫定指針値超えの地点

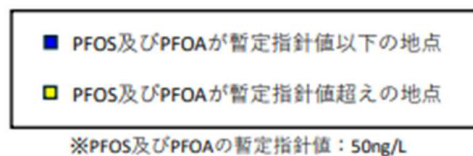
※PFOS及びPFOAの暫定指針値：50ng/L



宮崎県内地下水調査地点



1地点で、PFOS及びPFOAの暫定指針値を超過していました。



日南保健所管内河川調査地点



酒谷川	2箇所
広渡川	2箇所
福島川	4箇所
大平川	2箇所
細田川	1箇所

合計 11 地点
いずれも
暫定指針値超過なし

今年度は、「楠原井堰」、「金谷橋」にて測定予定

日南保健所管内地下水調査地点



坂元、飫肥（2箇所）
鵜戸、榎原、油津
串間、本城（2箇所）
都井岬（2箇所）

合計12地点
いずれも
暫定指針値
超過なし

今後も採水箇所を変えて測定予定

- PFASの概要
- 国内の取組
- 国内の検出状況
- 宮崎県及び日南保健所管内の検出状況
- まとめ



まとめ



- ・有機フッ素化合物（PFAS）について、県内全域の河川や地下水における存在状況を令和6年1月から網羅的に調査を行った。
その結果、西都市にて一箇所、暫定指針値超過が確認された。
- ・同調査において、日南市、串間市（河川11箇所、地下水12箇所）では、暫定指針値の超過は確認されなかった。
- ・今後も調査を継続し、水質を監視する。

